

令和3年7月14日(水)

10:00-12:00

八王子市役所 802 会議室

八王子市障害者地域自立支援協議会  
権利擁護推進部会 令和3年度 第3回会議録

(開催日時)令和3年7月14日(水)10:00-12:00

(開催場所)八王子市役所 802 会議室

## 1. 開 会

### 2. 障害理解を深めるためのガイドブック、好事例の収集について

配布資料参考。前回の部会で議題に上がっていたサポーター養成講座のマークの掲載についてはサポーター養成講座自体が進んでおらず、周知も出来ていないため、今回は掲載を見送ることにした。「白杖SOSシグナル」はまだ周知が進んでいないのでマーク一覧の部分には掲載しないことになったが、スペースがあったら事例紹介の部分などで掲載することになった。ガイドブックは、将来的には、カラー版で印刷できるようにするが当面は白黒版で印刷することが確認された。また、事例の紹介では、4コマ漫画的に起承転結を入れ、「〇〇の場面で困った」→「こうやってもらおうと嬉しい・よかった」、というように写真・イラストを入れてはどうかという案が出た。

事例の内容としては、障害当事者が困っていることを、合理的配慮の内容としては、環境を変えるものではなく、また具体的過ぎるものでもなく一般化できるものとして、その場でできることを載せることが確認された。

各委員が持ち寄った各障害の事例について、以下のようなコメント、確認事項が述べられた。  
精神障害:疲れやすい・手が震えるというのは障害特性だけでなく、薬の副作用のこともある。

知的障害:厚労省の「やさしい資料」という取り組みを伝えたい。他にも漢字にフリガナをふる、文字は大きくする、わかりやすい言葉で表す、一文を短くする、買い物で困っていそうだったら声をかけるといった配慮が欲しい。

内部障害:腎臓病の方で具合が悪くなった時には水を差した方がいいのか確認することになった。

聴覚障害:音声に代わる視覚的な意思疎通を試みてほしい。他の障害でも言えるが、本人ではなく支援者に話しかけることはしないでほしい。

難病:見た目では障害・病気があるとわからないことが多い。病気のせいで一日の、一週間の、体調の変化が激しい。他人に理解してもらえないことが多い。難病にはたくさんの種類があるので一概には言えないが、辛そうにしていたら声をかけてほしい。通院や入院で仕事を休む際などは理解を示してほしい。

なお、声がけの仕方として、「大丈夫ですか?」と言われると「大丈夫です」と体調も含めて伝えてしまいがちになる。「何かお手伝いしましょうか?」と言われると「では、何々をお願いします」と応えやすくなるという意見があり、声がけのポイントとして紹介できたらよい。

本部会で出た意見と以前配布された好事例(案)の資料をもとに、各障害、事例を二つに絞ることに、また事例の記入形式を統一させることになった。記入用紙については、後日、好事例(案)とともにメーリングリストで配布することになった。

令和3年7月14日(水)

10:00-12:00

八王子市役所 802 会議室

### 3. 虐待防止研修について

下半期に事例検討を一回、講演会を一回行うことになった。講師の謝礼が例年通り二回分あるか、改めて障害者福祉課が確認することになった。

### 4. その他

次回の部会は対面形式で行う予定となった。

次回開催日:8月25日(水)10:00~12:00

場所:八王子市役所801会議室

### 5. 閉 会